

平成 28 年 9 月 14 日

各 位

東京都江東区木場一丁目 5 番 25 号
サムシングホールディングス株式会社
代表取締役社長 前 俊守
(コード番号：1408)

問合せ先：
取締役管理本部長 笠原 篤
(電話番号：03 - 5665 - 0840)
(<http://www.sthd.co.jp/>)

カンボジアにおける孫会社の概要と事業内容のお知らせ

当社は在シンガポールの子会社である SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE.LTD. (当社 100%子会社) を通じ、平成 28 年 8 月 18 日にカンボジアにおいて Sonatra Construction Co., Ltd. (本社：カンボジア・プノンペン市、社長：永田哲司、以下ソナトラ) と日本ハウス株式会社 (本社：山口県、社長：河野正幸) とともに WPC (下記※参照) による住宅建設請負および関連事業の推進を目的として、下表の通り JAPANEL HOME (CAMBODIA) CO., LTD. (以下ジャパネル) を設立したため、お知らせいたします。

また、上記 3 社は平成 28 年 9 月 12 日にジャパネルの経営における基本事項を盛り込んだ株主間契約書を締結しました。

記

1. 新会社の概要

会社名	JAPANEL HOME (CAMBODIA) CO., LTD.
住所	No. 432, Preah Monivong Blvd, Sangkat Tonle Bassac, Khan Chamkarmon, Phnom Penh, Cambodia
設立年月日	平成 28 年 8 月 18 日
資本金	USD300,000
株主構成	SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE. LTD. : 70%
	Sonatra Construction Co., Ltd. : 25%
	日本ハウス株式会社 : 5%
取締役	中村 翼 (取締役兼取締役会議長、SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE. LTD.選任)
	中田 泰輔 (取締役、SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE. LTD.選任)
	永田 哲司 (取締役、Sonatra Construction Co. Ltd.選任)
	河野 正幸 (取締役、日本ハウス株式会社選任)

2. 事業内容

経済成長が続くカンボジアでは不動産・建設業がその牽引役を担っており、近年、首都プノンペン郊外ではカンボジア人の実需をターゲットとして、一戸建て、二戸一住宅 (2 戸の住宅が左右対称に隣接した住宅)、タウンハウス (3 戸以上の住宅が隣接した長屋型住宅)、ショップハウス (タウンハウスと似た形状で、通常 1 階部分は商業用に利用) 等から成る複合開発としての街造りが進められています。ジャパネルは、工場で生産された高品質の WPC パネルを使って、タウンハウスやショップハウスのデザインや設計、また基礎から躯体までの施工を手掛けることによりカンボジアの住環境の向上を実現します。

ジャパネルは初回プロジェクトとして 2017 年、ソナトラのグループ企業がプノンペン郊外で開発を進めるソナトラタウンの第 1 期（総戸数約 140 戸）のうち、“Japanel（商品名）”ブランドによる WPC 住宅としてタウンハウス等約 100 戸の建設を請負います。なお、ソナトラグループは今後 8～10 年をかけて、総戸数 2,500 戸の街造りを行う予定です。

当社は在ベトナムの孫会社 SOMETHING VIETNAM CO., LTD.を通じて、既に WPC 住宅の建設請負事業および地盤調査・改良事業を展開しております。そのベトナムではレンガで壁を作る従来型の簡素な住宅に対して、高品質で耐用年数の長いプレキャストコンクリートを利用した住宅により高い担保価値を認め、長期の住宅ローンを設定するという動きが始まりつつあります。こうした動きとともに、レンガに代わって WPC を利用することで二酸化炭素の排出量削減にも貢献する可能性があります。当社はタウンハウス等が中間層の実需市場を占めるベトナム・カンボジアにおいて WPC 住宅の普及を目指します。

※WPC は Wall Precast Concrete の略で、WPC 工法とは壁式工法とも呼ばれ、徹底した品質管理のもとに製造された高強度の PC パネルを、接合ボルトを使って建設現場で組み立てる工法です。この工法は、日本において戦後の住宅復興を推進するため官民が一体となって開発された工法で、耐震性、耐火性、耐久性、断熱性、遮音性等を兼ね備えています。木造住宅が極めて少なく、鉄筋コンクリートによる柱・梁とレンガ積みによる壁を組合せた住宅が主流のベトナム・カンボジアにおいては、火事や地震による倒壊の可能性は少ないものの、手作業による品質のばらつき、強度不足、雨季の工期が遅れや雨漏りが生じていることから、WPC および WPC 工法の特性が活かされます。また、WPC は一般の個人住宅のみならず、短い工期と数量が要求される公営住宅や工場労働者向けの住宅、そして耐久性を必要とする工場の壁などにも利用が可能です。

3. 今後の見通し

本件による当社の業績に与える影響は、現時点では軽微であると予想しておりますが、今後の事業展開により開示事項が発生した場合は、速やかに情報を開示いたします。

以上

(参考資料)



タウンハウス 現場写真



タウンハウス パース図面